

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載  
【部門区分】第 1 部門第 2 区分  
【発行日】令和 7 年 2 月 6 日(2025.2.6)

【公開番号】特開 2023-107122(P2023-107122A)  
【公開日】令和 5 年 8 月 2 日(2023.8.2)  
【年通号数】公開公報(特許)2023-144  
【出願番号】特願 2022-8252(P2022-8252)  
【国際特許分類】  
A 6 3 F 7/02(2006.01)  
【F I】  
A 6 3 F 7/02 3 3 4

10

【手続補正書】  
【提出日】令和 7 年 1 月 29 日(2025.1.29)  
【手続補正 1】  
【補正対象書類名】明細書  
【補正対象項目名】0 0 0 6  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【0 0 0 6】

20

本発明の代表的な一形態では、遊技を実行可能な遊技機において、遊技者に付与された遊技媒体の数又は遊技者に付与されることが決定された遊技媒体の数と、使用された遊技媒体の数との差に基づく計数値を計数する計数手段と、計数値に基づく所定条件の成立によって遊技を実行できない遊技不可状態の発生を示すフラグを設定可能であり、フラグに基づいて遊技不可状態を発生する遊技停止手段と、遊技者により操作可能な位置にあって当該遊技機の演出に関する調整操作を受付可能な操作手段と、演出として動作可能である可動部材と、可動部材の動作を制御可能な演出制御手段と、を備え、フラグは、当該遊技機の電源投入時に初期化されず、計数値は、電源投入時に初期化され、遊技停止手段は、遊技不可状態の発生を抑止する抑止状態を発生可能であり、演出制御手段は、遊技不可状態の発生後に可動部材が初期位置以外の動作位置に位置している場合、可動部材を動作位置から初期位置に戻し、遊技不可状態で操作手段の当該遊技機の調整の実行を抑止する。

30

【手続補正 2】  
【補正対象書類名】特許請求の範囲  
【補正対象項目名】全文  
【補正方法】変更  
【補正の内容】  
【特許請求の範囲】  
【請求項 1】

40

遊技を実行可能な遊技機において、  
遊技者に付与された遊技媒体の数又は遊技者に付与されることが決定された遊技媒体の数と、使用された遊技媒体の数との差に基づく計数値を計数する計数手段と、前記計数値に基づく所定条件の成立によって前記遊技を実行できない遊技不可状態の発生を示すフラグを設定可能であり、前記フラグに基づいて前記遊技不可状態を発生する遊技停止手段と、  
遊技者により操作可能な位置にあって当該遊技機の演出に関する調整操作を受付可能な操作手段と、  
演出として動作可能である可動部材と、  
前記可動部材の動作を制御可能な演出制御手段と、を備え、  
前記フラグは、当該遊技機の電源投入時に初期化されず、

50

前記計数値は、前記電源投入時に初期化され、  
前記遊技停止手段は、前記遊技不可状態の発生を抑止する抑止状態を発生可能であり、  
前記演出制御手段は、  
前記遊技不可状態の発生後に前記可動部材が初期位置以外の動作位置に位置している場合、  
前記可動部材を前記動作位置から前記初期位置に戻し、  
前記遊技不可状態で前記操作手段の当該遊技機の調整の実行を抑止する、  
遊技機。

10

20

30

40

50